

# 熊本市動植物園遊具等更新事業 (遊具、カフェ・レストラン等)について



H29.9.27

熊本市

資産マネジメント課

動植物園

# 1.熊本市動植物園の概要

## (1) 沿革

### 昭和4 (1929) 年

水前寺成趣園の東側一角、約9,900m<sup>2</sup>の敷地に「熊本動物園」として開園。

### 昭和44 (1969) 年

江津湖畔の現在地に移転し、“水辺動物園”として開園。

### 昭和61 (1986) 年

緑と水の祭典第4回全国都市緑化くまもとフェア「グリーンピック'86」開催。

熊本動物園は『アニマル広場』として会場の一部となる。

### 平成3 (1991) 年

「グリーンピック'86」閉幕後の植物ゾーン跡地を「植物園」として一体化し、「熊本市動植物園」となる。

### 平成19 (2007) 年度～

隣接する江津湖の水辺環境の特性を活かした5期15年の再編整備計画に基づき第1期として平成20年「サルたちの森」、平成21年「モンキーアイランド」、第2期として平成23年「チンパンジー愛ランド」、第3期として平成25年「ペンギン・カピバラ・サル山エリア」が整備された。

平成28 (2016) 年 4月15日から、熊本地震の影響により臨時休園。

平成29 (2017) 年 2月25日から、土日・祝日のみ一部のエリアを部分開園。

## (2) アクセス 国道57号(東バイパス) 熊本市電A系統：電停(動植物園入口)



熊本県庁

熊本市動植物園

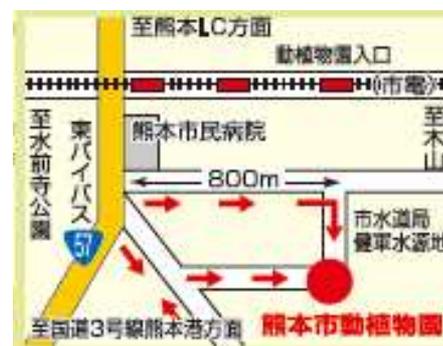
熊本市電A系統：電停(動植物園入口)

バス：バス停(動植物園前)

- ・自動車  
九州自動車道益城熊本空港IC  
車で10分
- ・熊本市電  
動植物園入口電停下車  
市中心部から約25分程度  
徒歩で10分
- ・バス  
動植物園前下車  
市中心部から約35分程度  
徒歩で2分

### 駐車場

- 平日：無料  
 土日祝日：有料  
 1台1回につき、軽・普通・中型自動車 200円  
 大型自動車(定員30名以上) 1,000円  
 収容台数 普通車1,225台、バス58台



### ( 3 ) 施設概要

所在地：熊本市東区健軍5丁目14番2号

用途地域：第2種住居地域

敷地面積：約24万㎡

建物（棟）数：65棟

総延床面積：約1万2千㎡

主な建物

- ・管理棟・正門、西門、南門
- ・動物舎・植物園（花の休憩所）
- ・レストハウス・動物資料館・各種遊具 ほか

入園料 現在は部分開園につき（ ）内の料金

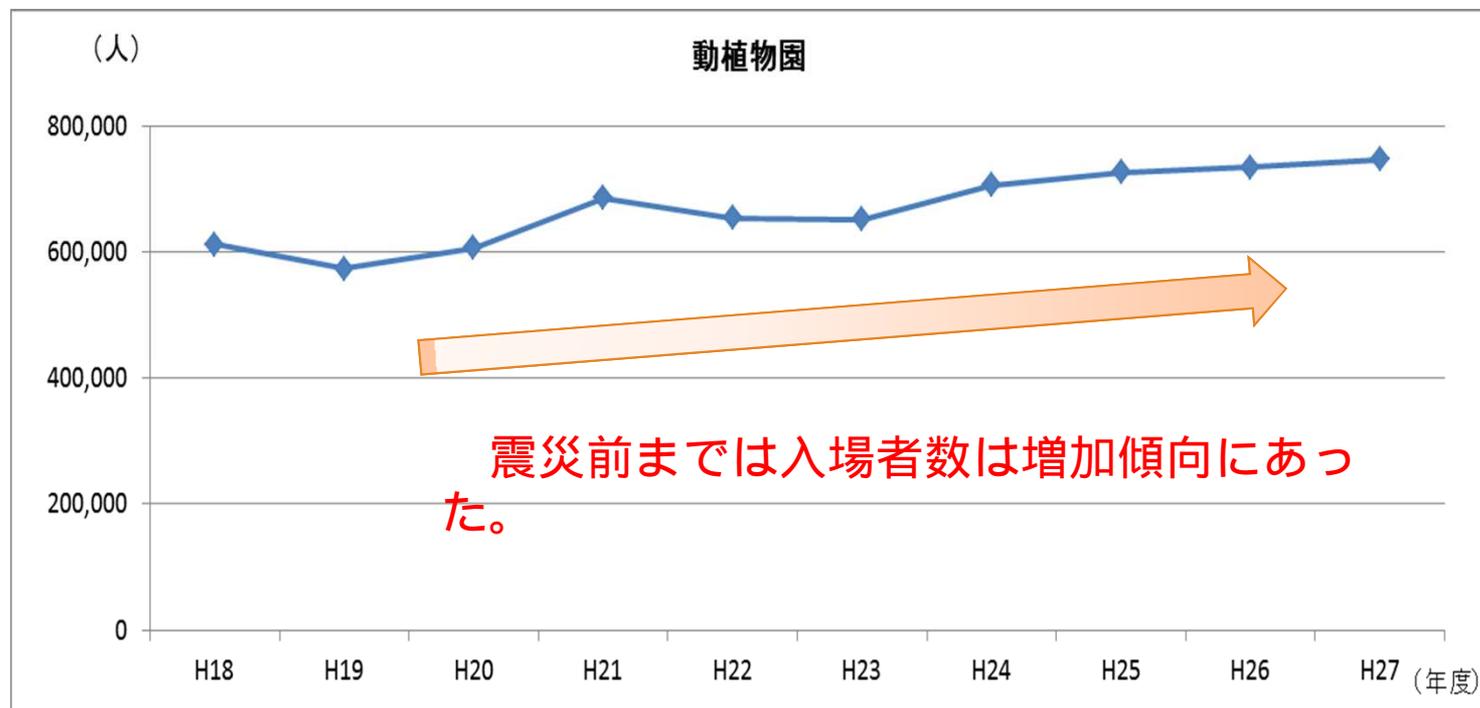


	個人	団体
大人・高校生	300円 (200円)	240円 (160円)
小中学生	100円 (無料)	80円 (無料)
幼児	無料	無料



## (4) 実績 (利用者推移)

平成19年から展示施設の再編整備を進めたことで、入場者数も近年70万人を超える水準で推移



熊本市施設白書 (H28年度版) より

# 実績（決算・収支の推移） 減価償却費除く

（収入支出の単位：千円） 注）事業費はイベント等実施費用 注2）H25再編整備工事あり

項目	H25	H26	H27
入園者数	727,263人	734,393人	747,883人
運営日数	309日	310日	310日
収入（A）	460,155	328,099	338,490
うち使用料 （入園料、遊具等合計）	282,847	302,745	308,761
<b>遊具分のみ</b>	<b>164,434</b>	<b>182,518</b>	<b>183,534</b>
支出（B）	1,196,500	964,216	1,019,988
人件費	540,059	533,596	514,332
事業費	70,156	40,915	188,522
維持管理費	586,285	389,705	317,134
うち工事費	231,915	0	14,034
<b>収支（A - B）</b>	<b>736,345</b>	<b>636,117</b>	<b>681,498</b>
1人当たり収入	633円	447円	453円
1人当たり支出	1,645円	1,313円	1,364円
運営職員数（計）	96人	93人	83人
正職員	75人	71人	64人
嘱託職員等	21人	22人	19人

## ( 5 ) 熊本地震による被害及び復旧状況

### 【被害状況】

地盤損傷、動物園舎損壊、遊具破損、園内配管破損等

### 【復旧状況】

計画的に復旧工事を進め、H29.2月に土日祝日限定で部分開園開始



園舎の重大な破損により動物展示できない箇所や  
園路の隆起・陥没等により入園者の安全確保が困難な箇所が発生

H30.4月再開を目指して復旧工事中



## 2. 今後の課題

### (1) 遊具等更新によりさらなる集客を図る

遊具使用料は動物園収入の54% **集客増による収入増を期待**

しかし、遊具の老朽化及び地震被害による破損等により今後更新（再編）等が必要 財源確保が課題（PFI手法等検討）

バイキング：  
被災 撤去（現状は更地）



東側・南側



ディスクオー：  
老朽化 撤去（現状は更地）



# 老朽化の状況

モノレール 38年経過



ミラーハウス 24年経過



券売機も老朽化

ゲームセンター 38年経過



ゲーム機も老朽化



観覧車 28年経過



休憩所や水飲み場設備も老朽化



## 遊具別利用状況（H26実績）

H26年度実績 年間収入額は利用者数×単価で算出

実際には動物サポーター制度（中学生以下：年間1千円で動物の餌代をサポートする制度の会員となると遊具1機種乗り放題）があるため、正確な実績額とは異なります。

機種	子ども列車	モノレール	新幹線	ディスク・オー	ドルフィン	バイキング
年間利用者数（人）	86,026	132,943	104,992	1,350	91,909	64,630
使用料単価	200円	200円	200円	300円 年度中稼働停止	200円	200円
年間収入（円）	17,205,200	26,588,600	20,998,400	405,000	18,381,800	12,926,000

機種	ミラーハウス	観覧車	ティーカップ	メリーゴーラウンド	チェーンタワー	メロディーペット
年間利用者数（人）	71,753	129,017	82,707	110,439	107,772	9,649
使用料単価	100円	200円	200円	200円	200円	200円
年間収入（円）	7,175,300	25,803,400	16,541,400	22,087,800	21,554,400	1,929,800

## (2) カフェ・レストラン等の設置（改修）による

### 集客を図る 入園者増（収入増） + 江津湖全体の魅力アップ

#### 東側・南側



園内外（両側）から、利用することができるカフェやレストランを中心とし、子どもが遊び・学ぶことができるスペース、おとながくつろげる読書スペースやアートを備えた休憩スペースなどを想定

市民の憩いの場である江津湖周辺を散策に適した魅力あるエリアにしたい



南門周辺：強み 江津湖への回遊性・湖の景観  
弱み 正門や周辺道路からの距離（集客に課題）

#### 西側



現在のレストハウス（閉鎖中）  
施設老朽化が課題



西門周辺：強み 正門又は西門等に近く（集客に優位）  
弱み 湖の景観や江津湖への回遊性に劣る

# 江津湖畔の回遊性



サイクリングロード  
遊歩道



南門：江津湖への出入り口

園南側から出て

西側へ徒歩 25分

水前寺成趣園

東側へ徒歩 10分

市立総合体育館・県立図書館

水前寺江津湖公園（広木地区）

花火大会会場

水前寺成趣園



江津湖の湧水（自噴）



江津湖の景観



県立図書館

## ～ 本日のプレゼンのまとめ～

- ・ 入園者数（使用料収入（入園料・遊具使用料））は近年横ばい  
 収支ギャップは毎年度約7億円程度発生  
 使用料のうち約6割を占める遊具使用料  
 遊具のリニューアルなどを通じて集客増を期待  
 2つの効果を期待  
 入園者数増加 入園料収入増加  
 遊具利用者増加 遊具使用料収入増加  
 リニューアルに際しては財源確保が課題  
 PFI手法等検討
  - ・ 被災した遊具跡地に新設
  - ・ 老朽化遊具の更新
  - ・ 遊具エリア全体（運転・保守管理など）
- ・ 動植物園に園内外から利用できるカフェ・レストランを設置することで  
 動植物園の集客増とともに江津湖畔の回遊性を向上  
 水前寺江津湖公園全体の魅力アップを期待  
 設置に際しては財源確保が課題  
 PFI手法等検討
  - ・ 園内にカフェ・レストラン施設を新設
  - ・ 設置者又は設置者が委託するものが経営（運営）

### 3. 今後のスケジュール

本日回収のアンケートで参加希望を確認します。

H29年 11月中旬 現地見学会（平日開催）  
動植物園内において課題箇所等を説明

12月中旬 個別相談会（サウンディング）  
応募者ごとに個別相談を実施

H30年 1月中旬以降 ヒアリング結果の公表

サウンディング結果を踏まえて導入可能性調査実施を検討

ご清聴ありがとうございました。



熊本市資産マネジメント課・動植物園